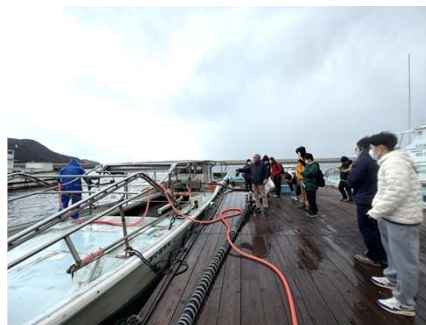
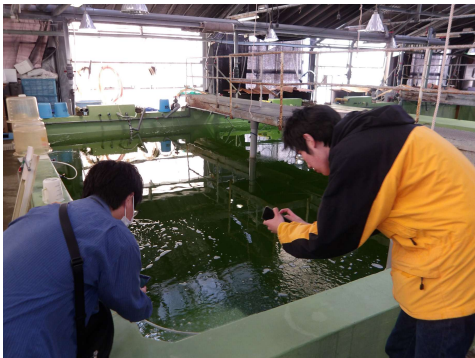


# R7年度「瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習」

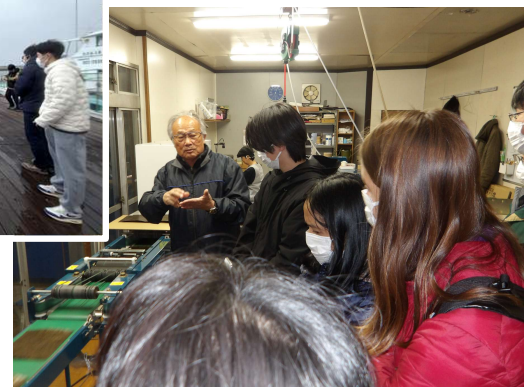
2026年1月10～13日に実験所で合宿の「瀬戸内海の養殖水産物を学ぶ総合演習」を開講しました。今年は、関西大学、京都大学、福山大学、北海道大学と、日本各地の大学から応募頂いた6名の学生が参加しました。本演習は、瀬戸内海の養殖水産物について、一次産業（養殖）から二次産業（加工）までを学ぶことを特色としています。水産種苗生産（一般社団法人 広島県栽培漁業センター）の他、ノリ養殖（福山市）、カキ養殖（東広島市）のご協力のもと、それぞれの養殖現場の見学と従事する方から近年の養殖産業の状況と課題について伺いました。特にノリ、カキ養殖においては、近年の海洋環境の急激な変化に伴う食害の深刻化や大量斃死の実態を紹介いただくとともに、これらの問題に関しての参加した学生からの質問にも熱心に受答え頂き、教室では決して得られない貴重な学びの機会を提供頂きました。また、広島大学にある食品製造実験実習工場にてレトルト食品の製造実習を行い、カキを使ったレトルトカレーの製造、試食を行いました。

**来年度も開講予定（2027年1月19日（月）～22日（金）開講。**他大学から受講の場合は、**利用する単位互換制度によって7月下旬に出願締切となる場合があります**。早めに自身の利用可能な単位互換制度について出願締切日を確認してください）ですので興味のある学部生の皆様、他大学の先生や学生と交流を深めつつ瀬戸内海の養殖水産物の現場を体感できるこの実習をぜひ受講しに来てください！！

## アユ、キジハタ種苗生産現場の見学



ノリ収穫船や加工場について生産者さんから直に説明頂きました



## カキ養殖者さん達からの説明と質問タイム



## 実習中の食事にて見学先で生産されたカキとノリをみんなで実食

